

## 色彩心理学

### 一色の印象と人の印象の違いー

片井野遥海, 金丸桃子, 橘健司  
(<sup>1</sup>)延岡高等学校 Nobeoka High School

#### Abstract

私たちは「色」が人に与える影響に興味を持ち、ネクタイの色を変えることで、他人に与える印象を意図的に良くすることができるかどうかを調べました。研究は、延岡高校の2年生を無作為に抽出し、独自に作成したアンケートを用いて実験の対象者とした。今回は「就職面接」という状況に限定して実験を行った。実験に加えて、好きな色が無意識のうちに好印象につながるかどうかについても調べた。

**Keyword** Good impression / 好きな色 / 色/心理

#### 1. 序論

##### (1) 研究背景

ほとんどの人が就職面接などでスーツを着ることがある。近年はSDGs17の目標のうち5で「ジェンダー平等を実現しよう」という目標があることから女性でもスーツにネクタイのスタイルをとることがある。逆もしかりである。さらに、人は身に着けている色を見てその人の印象を決める部分がある。そこで就職面接時に身に着ける「ネクタイ」に焦点を当ててネクタイの色によって面接官からより良い印象を持ってもらうことが可能なのかを調べたいと思いこの研究を始めた。

##### (2) 研究の目的(or動機or意義)

ネクタイなどの小物の色を工夫することで少しでも就職面接を有利に進めることができるのならより就職面接時への対策ができると考えたためこの研究を行う。

##### (3) 先行研究

主なカラーイメージ

赤: 情熱的、自信  
黄: 明朗、快活さ  
緑: さわやか、平穏  
紫: 上品、神秘  
白: 清潔、平和  
桃: やさしさ、愛  
青: 誠実、集中  
橙: 朗らか、あたたかい

黒: 高級、シック

金銀: 栄光、永遠、豪華

##### (4) 研究仮説

先行研究より赤は情熱的、青は集中のように暖色のものはアグレッシブ的、寒色のものはパッシブ的な印象があるため暖色系より寒色系のほうが見た人に落ち着いた印象を与えて面接時の好印象につながるのではないか。

同系色同士ではネクタイによる自己の主張が激しくない薄めの色のほうが好印象につながるのではないか。

多少は自分の好みの色を身に着けている人に好印象を持ちやすいのではないか。

#### 2. 調査方法

##### 実験方法

①白いワイシャツを着用した状態からネクタイの色(水色、オレンジ、黄色、赤、黒、ネイビー、グレー)のみ変化した状態の写真を用いてアンケートを作成する。

②30人(無作為に選んだ延岡高校二年生)にアンケートを実施する。

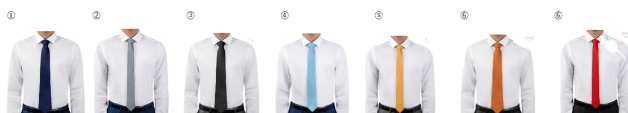
##### 【アンケート】

- 客観的に見て就職の面接時という状況で、好印象(第一印象で自分が採用したいと思う)を持つ順番に並び替えてもらう。
- 被験者の好きな色を一色選んでもらう。
- アンケートの結果を基にして、1位から順に7点、6点、5点、、、と点数化する。

### ③集計

- ④好きな色が好印象を選んだ色に繋がっているか調べる。

実際のアンケートに用いた画像↓



## 3. 結果

### (1) 結果or調査(実験)結果1

#### 〈調査目的〉

好印象だと思う順番に並びかえてもらい  
最も好印象を持たれた色を調べる。

#### 〈調査結果〉

ネイビー	169点
グレー	136点
ブラック	129点
水色	113点
黄色	88点
オレンジ	87点
赤色	87点

### (2) 結果or調査(実験)結果2

#### 〈調査目的〉

被験者の好きな色と好印象に感じた色を比較する。

#### 〈調査結果〉

一番好印象度と感じた色と好きな色が一致していた人の数→15/30人中(50%)

好印象に感じた色が好きな色の上位3位以内に入っていた人の数→21/30人中(70%)

## 4. 考察

- ・暖色系より寒色系のほうが誠実さや集中などの落ち着いた印象が色にあるため、就職面接時においては寒色系のほうが好印象になる。
- ・同系色同士では寒色系が暗めの色、暖色系は明るいめの色がその色を身に着けている人に対して明るい印象を与えるので好印象になる。

・真っ黒よりはネイビーやグレーのように多少色に特徴があるほうが色の印象も追加され、好印象に繋がる。

・個人的に好きな色を身に着けている相手には意識せずとも多少好印象を持つ。

※ほかの色や柄によっても印象は変わる。

## 5. 結論

身に着けるネクタイの色によって他人からの印象を操作することは可能である。しかし、ネクタイを身に着ける場面の中でも求められる印象は異なるので、すべての場合において確実に最も好印象になる色というのは存在しない。また、今回の実験では白のワイシャツに単色のネクタイを直用するという条件の下での結果であるため、柄やネクタイの下に身に着けるワイシャツの色などによってはまた違う結果になることが予想される。これは今後の展望にしていきたい。

## 6. 謝辞

研究への助言、資料の提示をしてくださったコーチの小野雅史様、春田かおる先生、アンケートに協力してくださった生徒の皆さんに謝辞を申し上げます。

## 7. 参考文献

色が与えるイメージと効果

[https://www.dic-color.com/knowledge/business/color\\_image.html](https://www.dic-color.com/knowledge/business/color_image.html)